仕　様

形名		R-S31XMV・R-S31XMVL
種類		冷凍冷蔵庫
定格内容積		305L
	冷蔵室	173L
	野菜室	66L〈 38L 〉
	冷凍室	66L〈 40L 〉
外形寸法		幅540mm×奥行625mm(ハンドル含まず)×高さ1725mm
定格電圧		100V
定格周波数		50/60Hz 共用
電動機の定格消費電力	50Hz	92W
	60Hz	102W
電熱装置の定格消費電力	50Hz	138W（霜取り時）
	60Hz	138W（霜取り時）
年間消費電力量		冷蔵室扉内側の品質表示ラベルに表示してあります。
質量		67kg

部　品

冷蔵室
- 高さかわるん棚…1
- うすいん棚………1
- たためるん棚……1
- チルドケース……1
- 卵ケース…………1
- ポケット(上段右)‥1
- 高さかわるポケット(上段左)…1
- ポケット(中段大)…1
- ポケット(中段小)…1
- ジャンボダブルポケット…1
- 給水タンク………1

野菜室
- 野菜ケース …………1
- スライド小物ケース…1

冷凍室
- スライドケース………1
- アイススコップ………1
- 下段ケース………1

●「定格内容積」は、日本工業規格(JIS C9801)に基づき、庫内部品のうち冷やす機能に影響がなく、工具無しにはずせる棚やケース等を、はずした状態で算出したものです。「定格内容積」には、「食品収納スペース」と「冷気循環スペース」を含みます。
●〈 〉内は、「食品収納スペースの目安」です。引き出し式貯蔵室(野菜室、冷凍室)の場合、「定格内容積」と併せ「食品収納スペースの目安」を表示しています。
●霜取りは１日１～２回程度、１回の霜取り時間は20～30分程度です。

冷蔵庫の消費電力量について

■年間消費電力量は、JIS C 9801(2006年版)で決められた測定方法と計算方法において得られた値を表示しております。
■使用時の消費電力量は、設置の仕方、各庫内の温度設定、周囲温度や湿度、ドア開閉頻度、新しく入れる食品の量や温度、使い方等により変動する場合があります。

	JIS C 9801（2006年版）消費電力量測定方法			
種類	冷凍冷蔵庫 「スリースター」「フォースター」機種		冷蔵庫	冷凍庫
庫内温度	冷凍室	冷蔵室	冷蔵室	冷凍室
	－18℃以下	4℃以下	4℃以下	－18℃以下
扉開閉回数	8回／日	35回／日	35回／日	8回／日
周囲温度	30℃及び15℃			
周囲湿度	30℃測定時：70±5％ 15℃測定時：55±5％			
消費電力量の表示	JIS年間消費電力量（kWh／年） （周囲温度30℃測定による1日当りの消費電力量180日分と周囲温度15℃測定による1日当りの消費電力量185日分の合計）			

愛情点検

●長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

こんな現象はありませんか
- ●電源コード、プラグが異常に熱い。
- ●電源コードに深い傷や変形がある。
- ●焦げ臭いにおいがする。
- ●冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。
- ●ピリピリと電気を感じる。
- ●その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います。
　2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日	形名	
購入店名	電話（　　）		

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12　電話(03)3502-2111

R-S31XMV
R-S31XMVL Ⓐ

取扱説明書

日立冷凍冷蔵庫

形名
R-S31XMV 形（右開き）
R-S31XMVL 形（左開き）

お使いになる前に

■ **扉の平行調整はおすみですか？**（ 6 ページ）
・調節脚により扉の平行調整をおこなってください。

■ **運転開始後は**（ 5 ページ）
・庫内が充分冷えるまでに半日以上かかる場合があります。
・大きめの運転音がしますが、異常ではありません。

■ **自動製氷機を使うときには**（ 14 ページ）
・使いはじめは氷ができるまでに約24時間かかる場合があります。
・1回の製氷個数は10個です。

ご不明な点は 0120-3121-11 にご相談ください。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みください。

取扱説明書は保証書と共に大切に保管してください。

contents

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

禁止マーク	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
強制マーク	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

据え付けるとき

■アース（接地）を確実に行う

アース線接続

故障などによる漏電により、感電することがあります。

● アース工事は、必ず販売店に依頼してください。（☞7 ページ）

■湿気の多いところや水のかかるところには据え付けない

水ぬれ禁止

電気絶縁が悪くなり、感電や火災の原因になります。

■地震などによる転倒防止の処置をする

転倒し、けがの原因になります。（☞6 ページ）

電源や電源プラグ・コードは

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない

禁止

他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して発火する原因になります。

● 定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
● タコ足配線、延長コードは使用しないでください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、冷蔵庫で押しつけたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● 電源コードや電源プラグの修理は販売店にご相談ください。

■電源プラグのほこりは定期的に取る

電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■電源プラグはコードが下向きになるようにし根元まで確実に差し込む

逆に差し込むとコードに無理がかかり、ショート・過熱し、感電・発火の原因になります。

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

■冷蔵庫のお手入れの際は必ず電源プラグを抜く

感電やけがをすることがあります。（☞17 ページ）

● 必ずプラグを持って抜いてください。

警告

冷媒について（可燃性ガスを使用していますので、次のことにご注意ください。）

■冷蔵庫本体に ねじ等の鋭利なもので冷媒配管を傷付けない

禁止

可燃性の冷媒を使用しているため、漏れると発火・爆発の原因となります。

■冷媒配管を傷付けたときは冷蔵庫から離れ火気や電気製品の使用を避ける

傷付けたときは窓を開けて換気し、販売店または修理受付窓口0120-3121-68にご連絡ください。

■冷蔵庫の周囲はすき間を空けて据え付ける（☞6 ページ）

冷媒が漏れた場合に滞留し、発火・爆発の原因になります。

■庫内灯は指定のものを使い、ゆるみなくしっかりねじ込む。

万一、冷媒が庫内に漏れた場合、発火・爆発の原因になります。

● 交換の際は必ず電源プラグを抜いてください。感電やけがをすることがあります。

■庫内では電気製品を使用しない

禁止

冷媒が漏れると、接点の火花により発火・爆発の原因となります。

■廃棄処分するときは販売店や市町村に引き渡す

冷媒が漏れると発火・爆発の原因となります。

ふだんご使用のとき

■冷蔵庫の上に水を入れた容器を置かない

水ぬれ禁止

こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり漏電し、火災・感電の原因になります。

■自動製氷機の機械部には手を触れない

接触禁止

製氷皿が回転したとき、けがをすることがあります。

■薬品や学術試料を保存しない

禁止

厳しい管理の必要なものは、家庭用冷蔵庫で保存できません。

■冷蔵庫の上にものを置かない

禁止

扉の開閉などで落下し、けがをすることがあります。

■可燃性スプレーを近くで使わない

禁止

ドアスイッチなどの電気接点の火花で引火する危険があります。

■本体や庫内に水をかけない

水ぬれ禁止

電気絶縁が低下し、感電・火災の原因になります。

■引火しやすいものは入れない

禁止

ベンジン・エーテル・LPガス・シンナー・接着剤などは引火爆発する危険があります。

■扉にぶら下がったり引き出し扉に乗ったりしない

禁止

倒れたり、手をはさんだりして、けがをすることがあります。

廃棄するとき

■リサイクルのときなど保管時の幼児閉じ込みが懸念される場合はドアパッキングをはずす

幼児が閉じこめられると危険です。

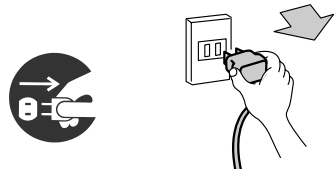
● ドアパッキングは引っ張ると外れます。

安全上のご注意

必ずお守りください

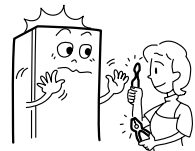
⚠警告

もしものとき

■製品の異常や故障のときは電源プラグを抜き 運転を中止する

感電やけがをすることがあります。

■分解・修理・改造は絶対にしない

分解禁止

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
● 分解・修理が必要なときは、販売店へご相談ください。

■可燃性ガスが漏れているときは冷蔵庫に触れず窓を開けて換気する

ドアスイッチなどの、電気接点の火花で引火爆発し、火災や、やけどの原因になります。

⚠注意

ふだんご使用のとき

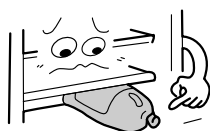
■ジャンボダブルポケット前列には 底まで入らないビン類は入れない

禁止

大きなビン類などを無理に入れると、扉開閉時に落下し、けがをすることがあります。

■食品は棚より前に出さない

禁止

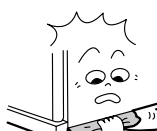
ビン類などが引っ掛かって落下し、けがをすることがあります。

■冷凍室にビン類を 入れない

禁止

中身が凍って割れ、けがをすることがあります。

■冷蔵庫底面に手を入れない

禁止

清掃するとき、 底面に手を入れると鉄板で手を切ることがあります。

■においったり 変色した食品は食べない

禁止

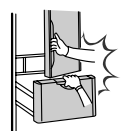
腐敗により、病気の原因になることがあります。

■冷凍室の食品や容器をぬれた手で触れない

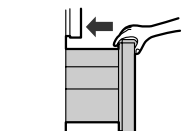
接触禁止

凍傷になることがあります。
（特に金属製のもの）

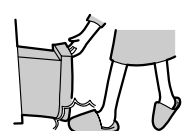
■２つ以上の扉を開くときや他の人が冷蔵庫に触れているときは 扉で指をはさまないか確かめる

扉と扉のすきまに指をはさみ、けがをすることがあります。

■引き出し式の扉を閉めるときは上面を持たない

禁止

扉の上面を持って閉めると、指をはさんでけがをすることがあります。

■最下段の引き出し扉を開けるときは 冷蔵庫に足を近づけすぎない

禁止

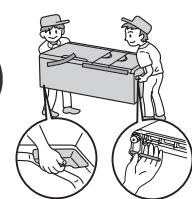
扉を引き出したとき、足の甲などに当たり、けがをすることがあります。

移動・運搬のとき

■傷付きやすい床の上では 冷蔵庫下部の移動車輪は使用しない

移動車輪により床材を傷付けることがあります。
● 傷付きやすい床では保護用の板などを敷いてください。

禁止

■運搬するときは 運搬用取っ手を持つ

取っ手以外を持つと手がすべってけがをすることがあります。（☞ 22 ページ）
● 安全上､2人以上で運搬してください。
● イラストのように､扉を上にして運搬してください。
● 取っ手をクレーン等で吊らないでください。

使いはじめ

●冷蔵庫は、「食品の鮮度をよくするもの」ではなく、あくまでも「食品が傷むことにある程度のブレーキをかけるもの」です。取扱説明書に従って正しく使用し、適切な食品管理を心がけてください。

はじめに

①庫内を清掃する

しめらせた柔らかい布で清掃する。
●冷蔵室扉ポケット付近に小さな穴が空いていますが製造上必要なものであり、異常ではありません。

②専用コンセントに接続する

電源100Ｖ
定格15A以上

庫内が冷えている場合は、7分後に運転を開始します。

③充分冷えてから食品を入れる

夏場など外気温の高いときは、食品が充分に冷えるまで24時間くらいかかることがあります。

上手な食品の入れかた

すき間を空ける

詰め過ぎると、冷気の流れが悪くなります。

食品は清潔に

食品には、意外に多くの汚れが付いています。

食品は冷ましてから

温かい食品を入れると、庫内の温度が上がり、電気代のムダになりますので、冷ましてから入れることをおすすめします。

冷気の吹き出し口をふさがない

冷気の流れが悪くなります。また、食品が凍ることがあります。特に缶飲料を奥に入れると破裂することがありますので、充分注意してください。

密閉して

ラップや密閉容器を利用すれば、乾燥やにおい移りを防げます。

新たな食品を重ねない

冷えていた食品の温度が上がります。

こんなときには 使いはじめ

冷蔵室表面および床や周辺が熱くなり、足元から暖かい風が出る	庫内の熱をファンや放熱パイプで庫外に逃がしているためです。使いはじめや夏場は50～60℃になることもありますが、安全上、性能上は問題ありません。
庫内がにおう	プラスチックやドアパッキングの臭いのせいです。 庫内が冷えると徐々に少なくなります。
扉を開けるときしむ音がする	扉を開けると庫内温度の変化により部品がきしみ、ピシッと音がします。また、扉が閉まっていても同様の音がすることがありますが、異常ではありません。
プラスチック部品に、ひっかき傷のような細い線が見える	細い線はウェルドラインといい、部品の成形時に発生するものです。透明な部品について特に目立ちやすくなっていますが、強度上の問題はなく、割れに至ることはありません。

据え付けのしかた

■本冷蔵庫は屋内で使用してください。

ムダな電気代や
騒音をおさえるために、
正しく安全な据え付けを！

万一の地震にそなえて

●背面の左右に冷蔵庫用転倒防止ベルトを掛け、先端を丈夫な壁や柱に固定してください。
別売品：部品番号　R－826CV 300（1本入り）を2個ご使用ください。
詳しくは販売店にご相談ください。

周囲に充分な放熱スペースをあける

最低 左右1cm以上、上部5cm以上

● 冷蔵庫は食品を冷やすため、周囲から熱を逃がしています。効率良く冷やすために、周囲に充分なすき間を空けてください。また、万一冷媒が漏れた場合、滞留し発火・爆発の原因にもなりますので、最低でも左右1cm以上、上部5cm以上（冷蔵庫の天井面から）のすき間を空けてください。
● 本体側面中央では、表示寸法より若干大きめになっていますので、放熱効率のためにも据え付け寸法は余裕をもってご準備ください。
● 背面は壁に付けられますが、振動音がするときや、**壁の材質によって変色する恐れがあるとき**（圧縮機周辺の空気がホコリを伴って上昇するため）は、壁から離してください。
● 冷蔵庫の上に、ものを置かないでください。
● 特に夏場は冷蔵庫の足元が熱くなりますが、放熱のためですので異常ではありません。

熱気・直射日光の当たらないところ

● 冷却力の低下をおさえ、電気代のムダを防ぎます。
● 直射日光はプラスチック部分の変色の原因にもなります。

湿気が少なく、風通しのよいところ

● さびの発生をおさえます。また電気代のムダを防ぎます。
※硫化ガス噴出の温泉地区等に据え付ける場合は、配管の防さび処理が必要となる場合がありますので、あらかじめ販売店にご相談ください。また、ガス害による故障は保証の対象外となります。

床が丈夫で水平なところ

● 次のような場所では、厚さ1cm程度の丈夫な板を敷いてください。
・冷蔵庫底面の熱により変色、変形することのある、じゅうたん・畳・フローリング・塩化ビニール製の床材など。
（夏場には、床面が50～60℃になることがあります。）
・冷蔵庫本体が傾くことのある、柔らかい床・弱い床など。

固定のしかた

必ず調節脚を床につけ、水平に固定してください。
扉下がり・騒音・振動を防止します。

1 脚カバーの両端を持って手前に強く引いてはずす。
2 調節脚（左右）を矢印の方向に回して下げ、冷蔵庫を固定する。
3 左右の調節脚を、冷蔵室扉が平行になるよう調整する。
4 脚カバーのツメ部（左右）を冷蔵庫本体の取り付け穴に差し込み、取り付ける。冷凍室扉を少し開けた状態で行いますと容易に取り付けられます。

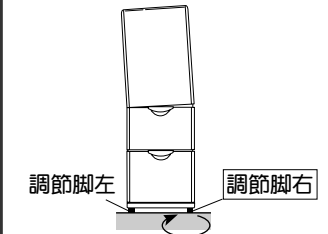
扉の平行調整は

●左側が下がっている場合

調節脚左　調節脚右

調節脚右 を矢印の方向に回して調整してください。

●右側が下がっている場合

調節脚左　調節脚右

調節脚左 を矢印の方向に回して調整してください。

● 調節脚を回す量は、扉段差1mmにつき1回転を目安にしてください。
● 冷蔵庫本体が床になじみ、扉が平行に直るまでに、ある程度の日数（1～5日）がかかる場合があります。

アース（接地）について

万一の感電防止および雑音障害を防ぐために、アース（接地）することをおすすめします。
特に、次のような場所に据え付ける場合は、必ずアースをしてください。

● 土間や洗い場の床など水気のあるところ。
● 地下室など湿気のあるところ。
● その他水気や湿気のあるところ。

● アース端子がある場合

アース線を冷蔵庫の背面に向かって左下のアース取り付けねじ（⏚記号）と電源コンセントのアース端子に接続してください。

別売品：「アース線（2.5m）」
部品番号　NW-60R6 52

● アース端子がない場合

お買い上げの販売店にアース工事（D種接地工事・有料）を依頼してください。

接続してはいけないところ
● 水道管　（感電の危険）
● ガス管　（爆発の危険）
● 電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険）

● 特に水気の多いところに据え付けるとき

アースの他に漏電しゃ断器の設置が義務づけられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

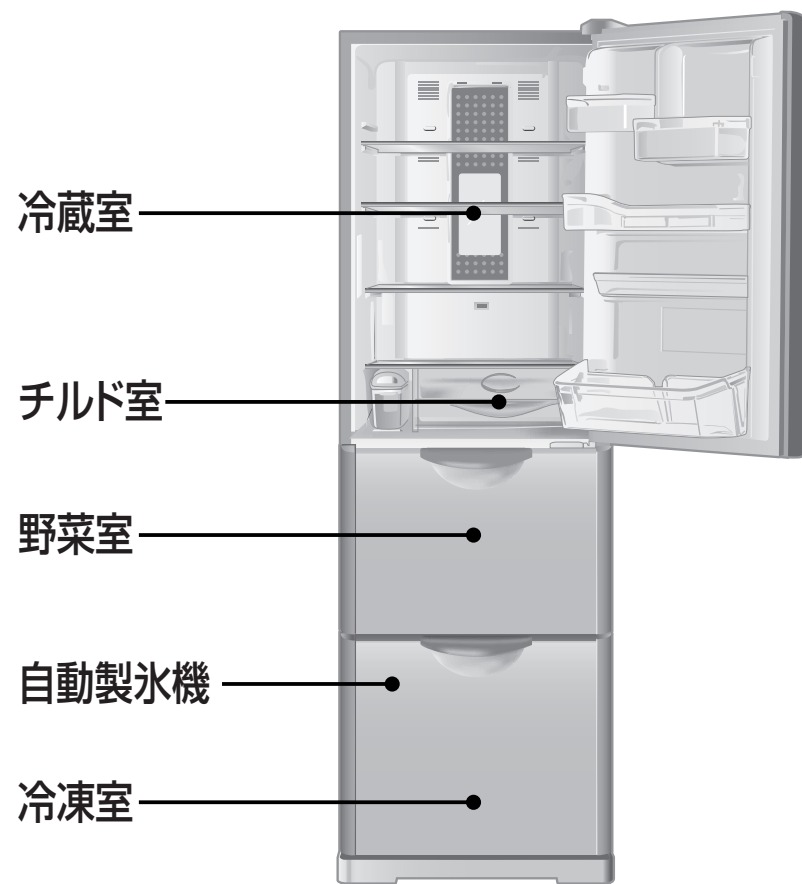
⚠ 警告

■冷媒回路（配管）を傷付けない
可燃性の冷媒を使用しているため、漏れると発火・爆発の原因となります。

■冷蔵庫の周囲はすき間を空けて据え付ける
冷媒が漏れた場合、滞留し発火・爆発の原因となります。

お願い

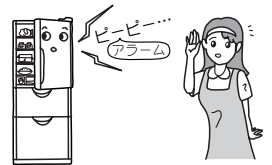
● 冷蔵庫の設置状況により、電話機・インターホン・ラジオ・テレビなどに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。このようなときは、冷蔵庫の本体および電源コードと他の機器をできるだけ離し、**冷蔵庫をアース（接地）することをおすすめします。**冷蔵庫の影響を受ける距離は、電波や設置の状態により異なります。

特長と食品の貯蔵場所

ナノチタンで除菌力アップ

ナノチタン除菌

優れた除菌効果を発揮する酸化チタン

冷気漏れをお知らせします

ドアアラーム

冷蔵室、冷凍室の扉が1分以上開いていると、“ピーッピーッピーッ”とアラームが鳴り、半ドア状態をお知らせします。
扉を閉めると止まります。
●扉がほんの少ししか開いていないときは、鳴りません。
●野菜室の扉には対応していません。

●温度は、周囲温度30℃、各室温度調節を「中」にして、食品を入れずに扉を閉め、安定したときの目安です。

温度調節・操作パネル

冷蔵室・冷凍室は通常、『中』の位置でお使いください。

温度を変えたい場合はダイヤルを回し、お好みの位置に合わせてください。

● ダイヤルを“強”または“弱”にしますと、チルド室の温度もそれに応じて低めまたは高めになります。
● ポケットは上表の温度より若干高めになります

操作パネルの「製氷一時停止ランプ」が点滅している

故障をお知らせしています。

● 「製氷一時停止ランプ」が点滅しているときは、自動製氷機・温度制御または霜取り装置などに異常があることをお知らせしています。お買い上げの販売店にご相談ください。
● ただし、下表の点滅パターンは、故障でなくても表示する場合があります。
ご相談の前に、下表の内容をご確認ください。点滅が消えれば正常です。

点滅パターン	考えられる原因	ご確認いただきたいこと
3回点滅	●製氷皿や貯氷量検知レバーに、食品などが当たっている可能性があります。	●貯氷コーナーを空にして、「製氷おそうじ」を実施してください。（15 ページ）
3秒間点灯後1回点滅	●冷凍室扉が、食品などに当たって半開きになっている可能性があります。	●冷凍室扉がきちんと閉まることを確認し、冷凍室内が充分冷えるまでお待ちください。
3秒間点灯後2回点滅	●冷蔵室扉が、食品などに当たって半開きになっている可能性があります。	●冷蔵室扉がきちんと閉まることを確認し、冷蔵室内が充分冷えるまでお待ちください。

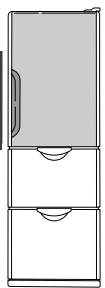
ドアアラームを止めたいとき

●急冷凍ボタンを3秒以上押し続けてください。※冷凍室の扉を閉じたまま行ってください。
●再びドアアラーム機能を使うときは、同じ操作をもう一度行います。

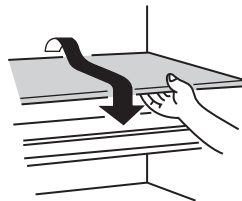
お知らせ

●お買い上げ時はアラームが鳴る状態に設定されています。
●電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後はアラームが鳴る状態に戻ります。
●「製氷おそうじ」運転中のアラームを止めることはできません。（「製氷おそうじ」は 15 ページ ）
●「急冷凍」運転中にアラームの入／切操作をすると「急冷凍」は解除されます。

お願い　冷蔵室、チルド、野菜室の食品が凍結する場合

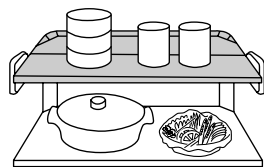
●冷蔵室ダイヤルを“弱”にしてください。
●冷蔵室ダイヤルが“強”のときは、“中”に戻してください。特に“強”設定時には食品や給水タンクの水が凍結しやすくなります。
●冬など、周囲温度が5℃以下のときは、各ダイヤルを“弱”にすると、凍りにくくなります。
●野菜室の底面に葉もの類を寝かせて入れた場合、まれに凍結することがあります。食品包装用トレイなどを敷いて入れてください。
（野菜室は容器の周りから間接的に冷却しており、容器底面の温度が低くなっているためです。）

高さかわるん棚(上段)/うすいん棚(下段)

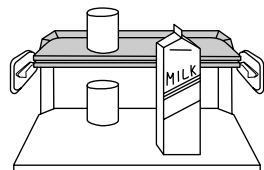
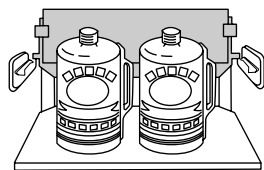
食品の高さや使い方に合わせて調節できます。

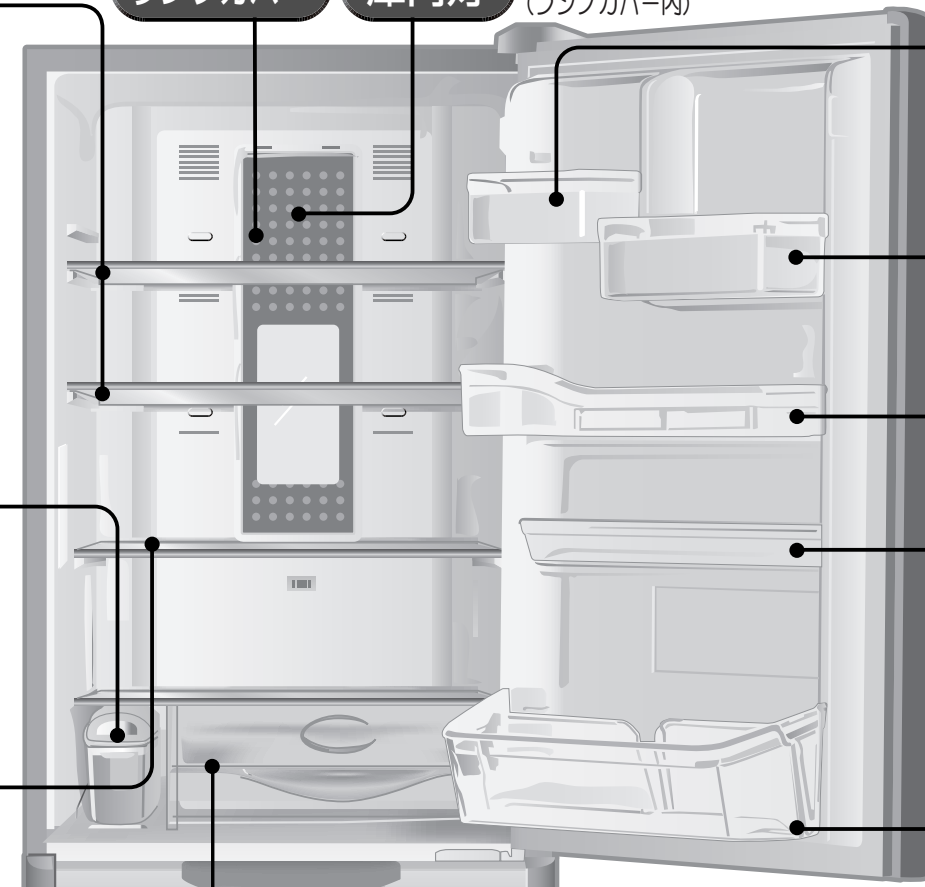
- ●棚の奥を少し持ち上げ、手前に引き出すと取り出せます。
- ●お好みの位置に合わせ、棚を奥面に当たるまで押し込んで下さい。
- ●高さかわるん棚・うすいん棚には13kg以上のものを載せないでください。棚が変形したり、割れたりすることがあります。

給水タンク

(14 ページ)

たためるん棚

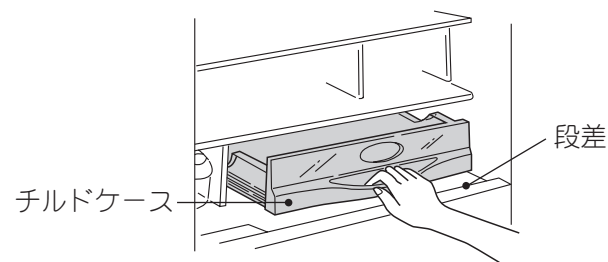
●普通の棚として

●手前側に背の高い食品を入れる時は

手前を少し持ち上げて押し込みます。

●背の高い大きな食品を入れる時は

奥まで押し込んだ手前の棚を1cmくらい引いて奥に立てます。

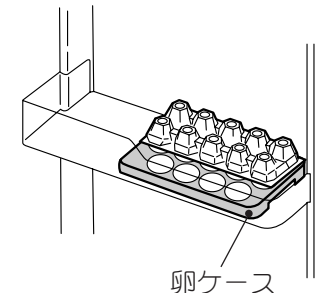
※たためるん棚に10kg以上のものを載せないでください。棚が変形したり、割れたりすることがあります。

チルド室

チルド 豆腐やヨーグルトなどの食品のおいしさや鮮度を保つ、約1℃付近の温度帯です。

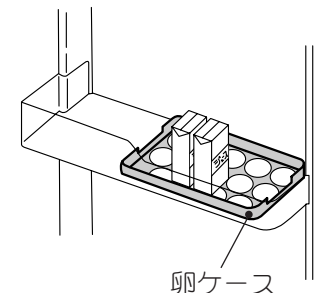
お願い

●チルドケースの開閉は、図のように取っ手部を持って行なってください。取っ手部以外に手をかけて行なうと、指をはさんでけがをすることがあります。

●冷蔵室扉を閉めるときは、チルドケースを押し込んだ状態で閉めてください。ケースを引き出した状態で扉を閉めると、ケースや食品を破損することがあります。
●ケースには3kg以上のものを入れないでください。割れることがあります。

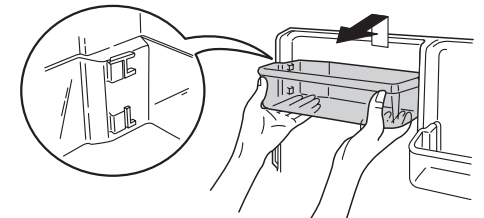
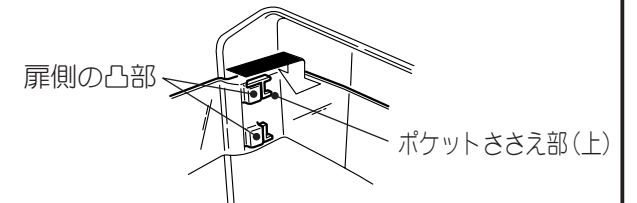
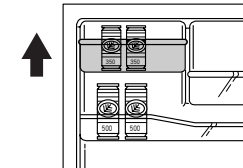
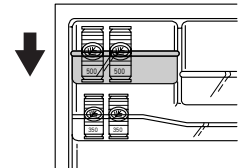
ポケット（中段大）

●卵ケースには、卵を市販のパックのまま入れることができます。

卵ケース

●卵ケースを裏返しにすると、小物ポケットとしても使えます。

卵ケース

高さかわるポケット（上段左）

移動のしかた

- ●持ち上げ、手前に引きはずします。
- ●取り付けるときは、逆の操作をします。

●上へ移動する時は、扉側の上部凸部にポケットささえ部（上）を上から挿入し、下へ下げます。

高さかわるポケットを上へ	高さかわるポケットを下へ
上に350mL缶 下に500mL缶が入ります。	上に500mL缶 下に350mL缶が入ります。

⚠注意

■ **ポケットに不安定で倒れやすいビン類や缶類を立てて入れない**
落下して、けがの原因になります。

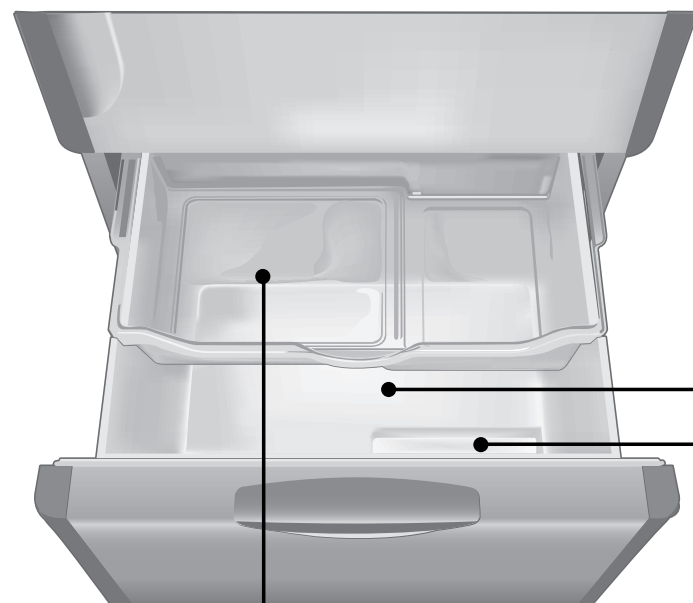
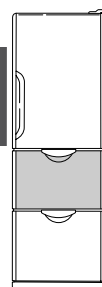
■ **ジャンボダブルポケットにボトル類を無理に入れない**
扉の開閉でポケットがはずれたり、ボトル類が落下して、けがの原因になります。

■ **棚は決められた位置以外では使用しない**
棚のストッパーがきかず、棚や食品が落下しやすくなります。

お願い

●高さかわるん棚・うすいん棚・たためるん棚にビン類や食品容器を載せる場合は、庫内灯を覆っているランプカバーに強く突き当てないでください。ランプカバーが割れることがあります。
●チルド室の前にはものを置かないでください。チルドケースとジャンボダブルポケットの間にはさまれて、半ドアとなったり、ケースや食品を破損することがあります。

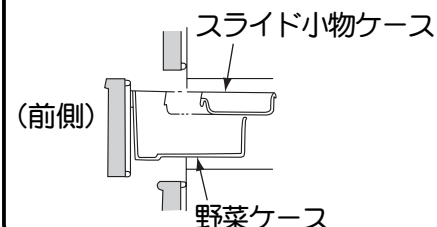
野菜室

野菜室

野菜ケース

●野菜ケースには12kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

●野菜ケースに食品を入れるときは、スライド小物ケースの下面より上に食品が出ないようにしてください。食品やスライド小物ケースを破損することがあります。

スライド小物ケース…果物や小物野菜の貯蔵に。

●スライド小物ケースをはずして使わないでください。野菜室の温度が低くなり、また、高湿を保てなくなります。
●スライド小物ケースには4.3kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

ボトルコーナー

●2Lのペットボトル･ビール大ビンを立てて収納できます。

⚠注意

■ **野菜室の扉を閉めるときは上面を持たない**

扉の上面を持って閉めると、指をはさんでけがをすることがあります。

⚠警告

■ **野菜室扉を引き出した状態で扉に乗ったり ぶらさがったりしない**

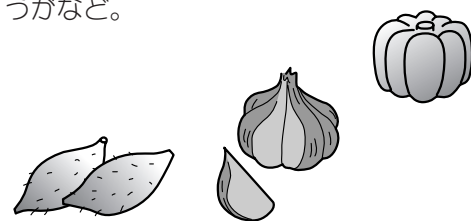
冷蔵庫が倒れたり、扉がはずれたりしてけがをすることがあります。

野菜は、切らずに貯蔵したほうが日もちします

貯蔵してはいけない食品

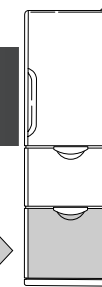
バナナ・メロン・パパイヤ・パイナップル・アボガドなどは、熟成が進みにくくなり、変質することもあります。
なお、食べる前に冷蔵庫で冷やすことは差し支えありません。

貯蔵しなくてもよい食品

カボチャ・ごぼう・玉ねぎ・いも類・にんにく・根しょうがなど。

お願い

● 野菜の量や種類によって、スライド小物ケースの底面や野菜室天上に結露することがあります。ふきんなどで拭き取ってください。
● 水洗いした野菜は、よく水気を切ってから入れてください。
● 長ねぎ・にら・わけぎなど、他の食品へのにおい移りが気になるものは、ラップをして保存してください。
● **野菜室に入れた野菜が乾燥する場合は、ラップをしてください。**
● 周囲温度が5℃以下のとき、野菜ケース底面が凍結する場合は、冷凍室ダイヤルを“弱”にしてください。

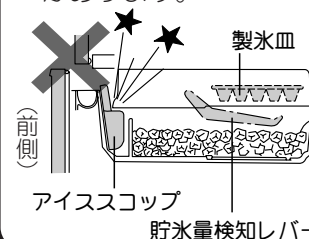
冷凍室

冷凍室

自動製氷機

貯氷コーナー

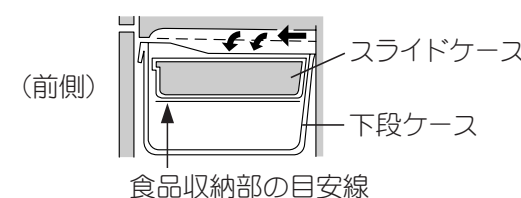
急冷凍コーナー

アイススコップ

●アイススコップは所定の位置に倒して置いてください。
(☞14 ページ)
立てて置くと、半ドアになったり、ケースや製氷機を破損することがあります。

スライドケース

●スライドケース内には4.6kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

下段ケース

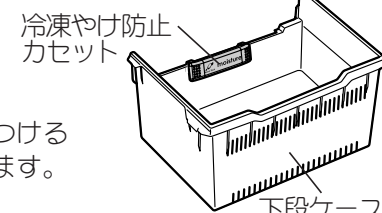
大きな食品や長期間貯蔵する食品を入れます。
●下段ケースには11kg以上のものを入れないでください。
ケースが変形したり、割れたりすることがあります。
●下段ケースの目安線より上に、食品が出ないようにしてください。食品がスライドケースに当って、扉が確実に閉まらなくなり冷えが悪くなります。また、食品やスライドケースを破損することがあります。

冷凍やけ防止カセット（下段ケース奥）

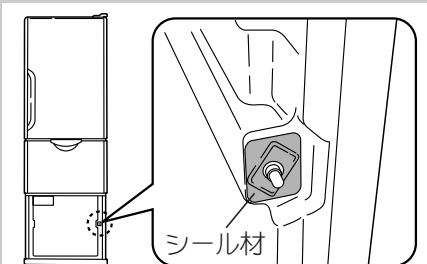
水分を保持し、食材の冷凍やけを抑えます。

お願い

下段ケースを水洗いする際には必ず取り外してください。
●冷凍やけ防止カセットを水につけると成分が変質することがあります。
※定期的な交換は不要です。

冷凍やけ防止カセット

下段ケース

冷凍室ドアスイッチ

このシール材は性能を保証する為に貼付けてあります。
取り外さないでください。

急冷凍機能

●食品をおいしく･新鮮にすばやく冷凍します。（急冷凍する食品はスライドケース内に入れてください。）
冷蔵室内にある操作パネルの「急冷凍」ボタンを押すと急冷凍ランプが点灯し、約2時間、急冷凍運転を行います。終わるとランプが消えます。
途中でやめたいときには、もう一度ボタンを押します。ランプが消え、急冷凍を停止します。

お知らせ

●霜取り中は急冷凍のランプは点灯しますが、運転は行いません。霜取り終了後、自動的に運転を再開します。
●急冷凍時は庫内ファンの回転数を増しているため、運転音が大きめになります。
●「急冷凍」中は冷凍室を優先して冷却しますので、冷蔵室の温度が上がりやすくなります。
扉の開閉をなるべく少なくすることをおすすめします。
●「急冷凍」終了後の60分間は、再度急冷凍ボタンを押してもランプは点灯しますが、運転は行いません。
60分経過後、運転を開始します。
●薄肉等の食品を入れるときには、ラップをしてください。密着する場合があります。

こんなときは

●周囲温度が高い夏場などは、急冷凍の効果が少なくなる場合があります。

自動製氷機の使いかた

給水タンク
自動製氷機

■給水タンクに水を入れ、セットするだけで氷ができます。一定量の氷がたまると、自動的に止まります。

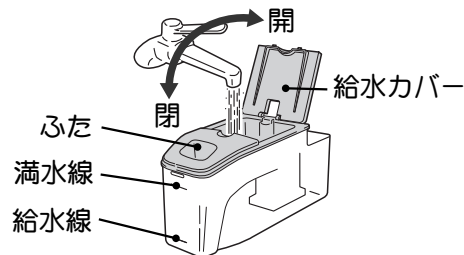
氷の作りかた

使いはじめや1週間以上使わなかった場合、ニオイやホコリが付いていることがありますので、給水経路や製氷皿のおそうじを実施してください。（☞ **15** ページ）

1 給水タンクを取り出します。

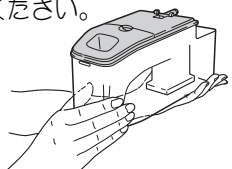
- 給水タンクは、外れ防止のため少し固めに取り付けています。外しにくい時は少し浮かして手前に引いてください。

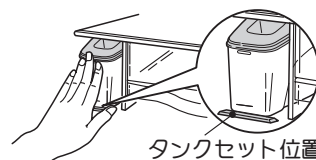
2 給水カバーを開け、水を入れます。

- 「満水線」まで水を入れてください。満水線以上に水を入れると、ふたの周りから水が漏れます。

お願い

- 水道水をそのままご使用ください。井戸水や浄水器などで塩素分などを取り除いた水や一度沸騰させた水は、雑菌が繁殖しやすくなるため自動製氷に適さないことがあります。

3 給水タンクの本体を持ち、静かに運びます。

- タンクの底に手をそえて、水平に運んでください。

4 給水タンクを「タンクセット位置」の奥まで確実に押し込みます。

- 給水タンクの押し込みが不充分ですと、給水されず製氷できません。

5 給水タンクの水が「給水線」までなくなったら水を補給します。

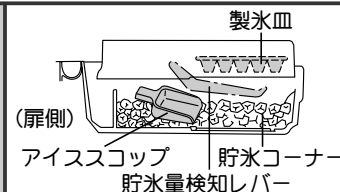
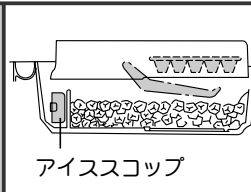
⚠警告

■ **自動製氷機の機械部には手を触れない**

- 製氷皿が回転したとき、けがをすることがあります。

氷の保存について

- 氷の量の確認は貯氷量検知レバーが自動的に行い、一定量になると製氷を停止します。但し構造上、貯氷コーナーに氷は一杯にはなりません。
- 氷の量を正しく確認するため、氷は平らにならし、アイススコップは所定位置に倒して置いてください。
- 貯氷コーナーには冷凍食品などを入れないでください。製氷を停止することがあります。

禁止

正しい使い方

製氷時間と製氷能力について

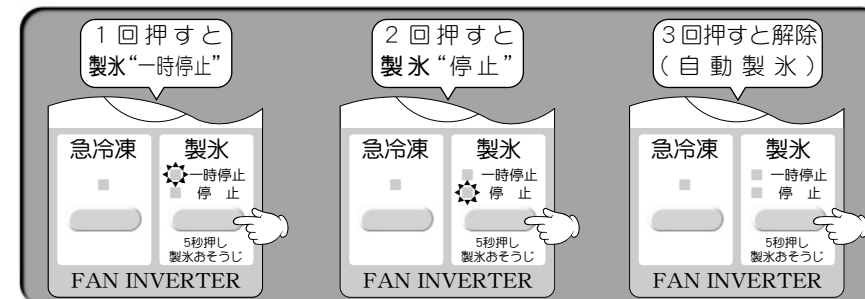
- 製氷時間は、1回約120分かかります。氷の量は約70個、氷をならすと約120個収納できます。（周囲温度30℃、扉開閉なしのとき）
  1回の製氷で、10個の氷ができます。
- 次のようなときには、製氷時間が長くなります。
  - 冷蔵庫の使いはじめは、庫内が充分冷えてから給水・製氷の動作に入りますので、約6～8時間かかります。夏場など周囲温度の高いときには、24時間以上かかることがあります。
  - 扉開閉が多いときや、多量の食品を一度に入れたとき。
  - 冬場など周囲温度が低いときや、製氷の途中で停電などがあったとき。
  - 「製氷停止」から「自動製氷」に切り替えたとき。
    貯氷コーナーの氷が一定量になると自動的に製氷を停止しますが、製氷機は氷の量を確認する為に一定の時間間隔で動作します。

お願い

禁止

- **給水タンクの取り付けは、給水タンクの「給水」と「満水」表示側を手前にして取り付けてください。**
- **給水タンクには、水以外は絶対に入れないでください。**
  〔ジュース・お湯などは故障や変形の原因になります（耐熱温度50℃）〕
- 貯氷コーナーに水を入れて氷を作らないでください。ケースが割れることがあります。
- 周囲温度が5℃以下の場合、給水タンクの水が凍ることがあります。このようなときは、氷を取り除いて水を入れなおし、冷蔵室の温度調節を「弱」にしてください。（☞ **9** ページ）
- 冷凍室扉を強く開閉したときには、氷が容器の奥に落ちることがありますので、ゆっくりと開閉してください。

自動製氷機の設定切り替え

冷蔵室内の操作パネルの製氷ボタンで、自動製氷機の設定を切り替えられます。

- 「製氷運転中」は、表示ランプ（緑色ランプ）が消えています。
- 据え付け時は、「自動製氷」に設定されています。
- 電源プラグを抜き差ししたり、停電から復帰したあとは「自動製氷」の状態に戻ります。

製氷一時停止

夜間など氷の落下音が気になるときに、ご利用ください。

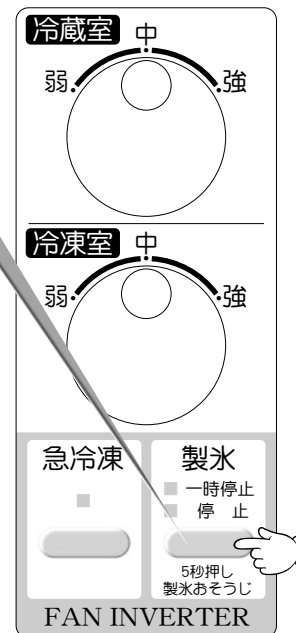
ボタンを押してから約8時間、製氷を停止します。ランプが点灯している間は、解除するまで、毎日同じ時間に製氷を停止（8時間）します。

※製氷一時停止ランプが点滅している場合は、故障をお知らせしています。（☞ **9** ページ）
お買い上げの販売店にご相談ください。

製氷停止

冬など長期間氷を作る必要がないときに、ご利用ください。

製氷を停止します。

- ボタンを押してから給水タンクの水を捨て、各部を清掃します。（☞ **16** ページ）
- 「製氷停止」から「自動製氷」に切り替えたあとの製氷時間は、給水パイプ凍結防止ヒーターの予熱運転を行うため、通常よりも長くなります。

製氷おそうじ機能の使いかた

使いはじめや1週間以上使わなかった場合、ニオイやホコリが付いていることがありますので、給水経路や製氷皿のおそうじを実施してください。

1 給水タンクに新しい水を入れ、所定の位置にセットします。

2 冷凍室の貯氷コーナーを空にして、底面にきれいな「ふきん」または「タオル」を敷きます。

3 冷凍室扉が閉まっていることを確認してから、製氷ボタンを5秒以上押し続けます。

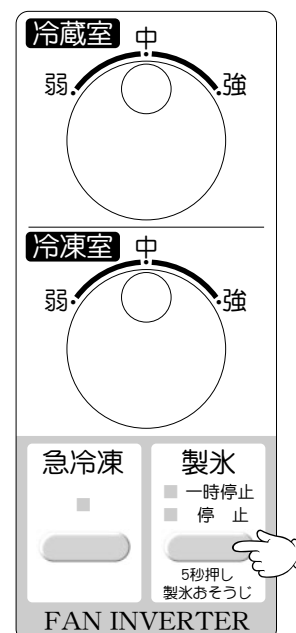
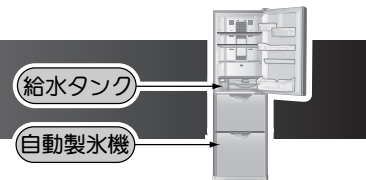
"ピーッピーッ…"のアラームが鳴り「おそうじ」を開始します。
（「おそうじ」中は、アラームが鳴り続けます。）

4 約3分で「おそうじ」を完了します。

「おそうじ」完了とともにアラームが止まります。

5 貯氷コーナーに溜まった氷や水、及び「ふきん」や「タオル」などを取り除きます。

お願い

- アラームが鳴り終わるまで、冷蔵室扉と冷凍室扉を閉めたままお待ちください。（扉を途中で開けないでください。）
- 「製氷一時停止」や「製氷停止」をしていた場合には、水が出ないことがありますので、「自動製氷」に設定し、30分経過してからお使いください。

給水タンクのお手入れ

「ぬめり」や「水アカ」の発生を防ぐため、給水タンク各部は必ず週1回水洗いをしてください。

- 長期間氷を作らないときは、必ず給水タンク各部をよく乾燥させて冷蔵室の所定の場所に戻してください。自動製氷機の設定を「製氷停止」にすることをおすすめします。（☞ **15** ページ）
- 自動製氷機の設定を「製氷停止」にしない場合、ときどき給水ポンプの運転音がしますが、異常ではありません。

図のようにふたの前方中央部を押し上げてはずす。
（爪でふたを開けないでください。）
ふたを閉めるときは、ツメが給水タンクにひっかかっているのを確認して、矢印の方向に閉めてください。

▼

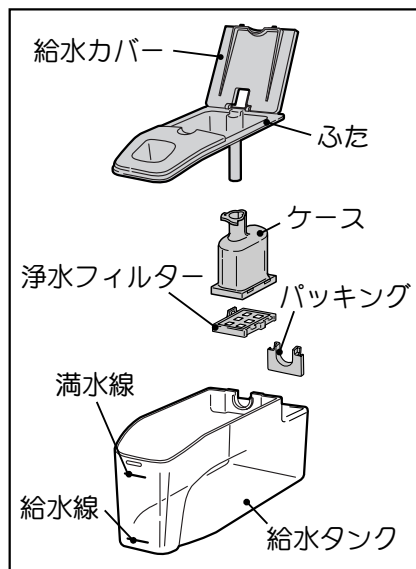
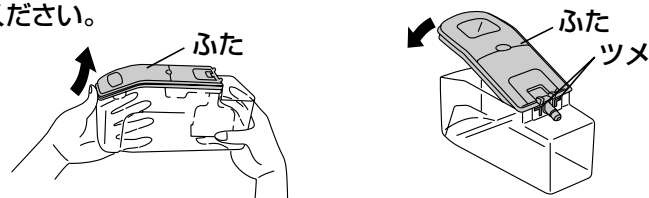
浄水フィルター

1 ケースを矢印の方向に回し、ふたからはずす。

2 ケースの下側を指で押さえながら、浄水フィルターのつまみを指で引っ張ってはずす。

3 柔らかいスポンジで水洗いする。

- 台所用中性洗剤・漂白剤などは使用しない。
- 破れやすいので棒などではつつかない。

給水カバー
ふた
ケース
浄水フィルター
パッキング
満水線
給水線
給水タンク

浄水フィルターの交換

- 古くなったら交換してください。（約3～4年が目安です）
- **交換用浄水フィルターのご注文**
  部品番号：RJK-30をご指定のうえ、お買い上げの販売店でお買い求めください。
  （浄水フィルターをはずしても製氷能力は変わりません）

こんなときには（自動製氷機）

こんなとき	お調べください
製氷しない 氷の量が少ない	●給水タンクに水が入っていますか？ ●給水タンクが奥まで正しく入っていますか？ ●給水タンクの水が凍っていませんか？ 　凍っている場合、冷蔵室温度調節を「弱」にしてください。 ●浄水フィルターが古くなっていませんか？ ●アイススコップは正しい位置にありますか？ ●アイスケースに食品など氷以外のものを入れていませんか？ ●自動製氷機を「製氷停止」にしていませんか？ ●停電はありませんでしたか？ ●使いはじめなど冷凍室が充分冷えていないときは、氷ができるまでに約6～8時間、夏場は24時間くらいかかることがあります。 ●扉をひんぱんに開けたり、多量の食品を一度に入れませんでしたか？
氷が丸くなる 小さくなる つながっている 突起ができる	●長期間、貯氷したままになっていませんか？ ●扉をひんぱんに開けたり、長時間開けたままにしていませんか？ ●給水タンクの水がなくなったり、水を補給したときの最初の氷はつながったり、小さくできることがあります。氷がつながっている場合は、付属のアイススコップで離してください。 ●停電になったことがありませんか？ ●均一な氷を作るために、製氷皿には水路を設けています。この水路が氷の端に突起として残ります。 突起
氷がにおう	●給水タンクが汚れていたり、水が古くなっていませんか？ ●浄水フィルターをはずしていませんか？ ●浄水フィルターが汚れていたり、古くなっていませんか？ ●お手入れに洗剤や、漂白剤などを使用していませんか？ ●においの強い食品をラップしないで入れていませんか？
氷に白いにごりがある	●もともと、水の中に溶け込んでいた空気の微細な気泡が、氷の中に閉じこめられた為です。 ●ミネラルウォーターや井戸水で製氷していませんか？ 　ミネラル分の多い水で製氷すると、白色の浮遊物（カルシウム結晶）ができることがあります。害はありません。

お手入れのしかた

■月に１回はお手入れを。

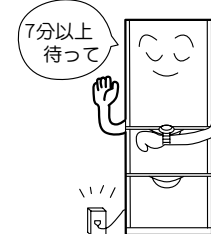
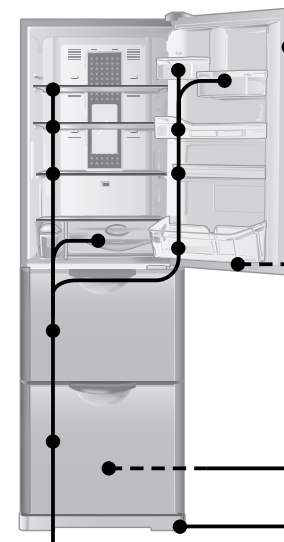
お手入れのしかた

1. 電源プラグを必ず抜き、点検をします。
   ①電源コードに傷がありませんか？
   ②電源プラグが熱くなっていませんか？
2. やわらかい布にぬるま湯か薄めた中性洗剤を含ませて拭いてください。中性洗剤で拭いた後は、水拭きしてください。
   ●本体や庫内に水をかけないでください。
3. お手入れ後、電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

●不審な点がありましたら、すぐにお買上げの販売店へご連絡ください。

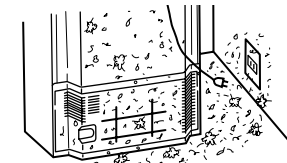
庫内が冷えている場合には、電源プラグを抜いたあと、すぐに差し込んでも7分間は圧縮機の運転をしません。

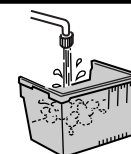
お手入れのポイント

ドアパッキング

汚れやすいところです。
下側もよく拭いてください。

汁受け

汚れや汁がたまったら、拭き取ってください。

ホコリを取るところ（年１回程度）

1. 傷の付きやすい床では保護用の板などを敷いてから、冷蔵庫を静かに手前に引き出してください。
2. 背面・壁・床の汚れを拭いてください。
   ●背面はほこりがたまったり、空気の対流により細かいほこりが付着して黒く汚れやすいところです。

棚・ドアポケット・ケースなど、

はずして、水洗いしてください。

⚠注意

■ **冷蔵庫の底面に手を入れない**
冷蔵庫の底面には鉄板があり、けがの原因になります。

●もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠警告

■ **お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く　また　ぬれた手で抜き差ししない**
感電の原因になります。
■ **電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は　よく拭き取る**
ほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因になります。
■ **電源コードや電源プラグが傷んでいたりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
感電・ショート・発火の原因になります。
■ **水をかけない**
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

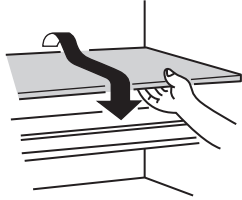
お願い

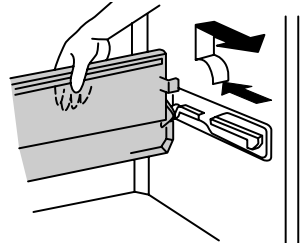
- 食用油やかんきつ類の皮に含まれている汁が付いた場合は、拭き取ってください。プラスチックが割れることがあります。
- 食品などの汁が扉表面に付いた場合は、すぐ拭き取ってください。そのまま放置しますと、変色することがあります。
- **化学ぞうきんをご使用の際は、化学ぞうきんの注意書に従ってください。**
- 次のものは使わないでください。
  ・台所用洗剤の「家庭用品品質表示法に基づく表示」の「液性」欄に、アルカリ性または弱アルカリ性と記載さている洗剤。（プラスチック部品が割れたりプラスチック表面を黄変させることがあります。）
  ・みがき粉・粉せっけん・石油・熱湯・たわし・酸・ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤など。
  （塗装面やステンレス表面、　プラスチックなどを傷めたり変色させることがあります。）

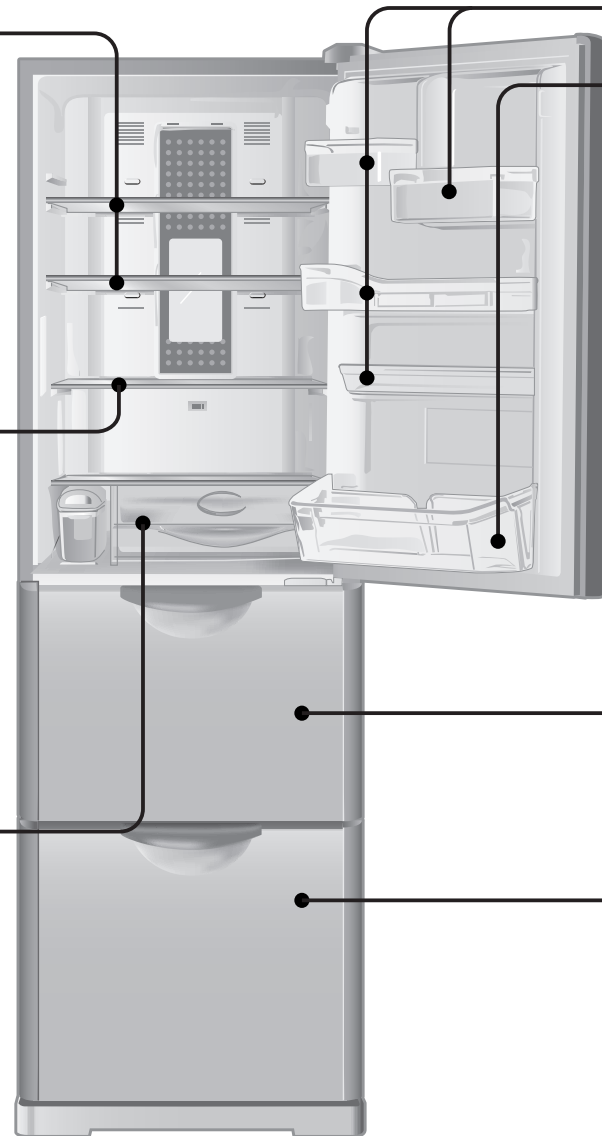
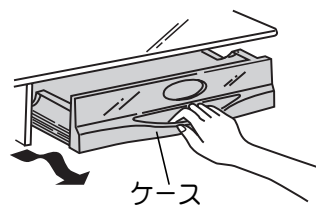
部品のはずしかた・取り付けかた

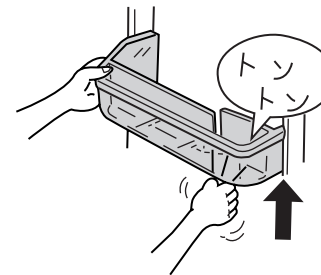
■ 取り付けかたは、はずしかたの逆の順序で行います。
■ 冷蔵室の部品の取りはずし・取り付けの際は扉を90度以上開いてください。

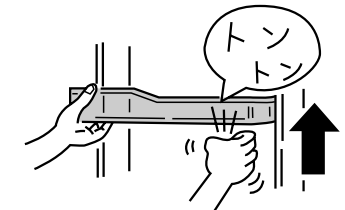
高さかわるん棚（上段）/うすいん棚（下段）

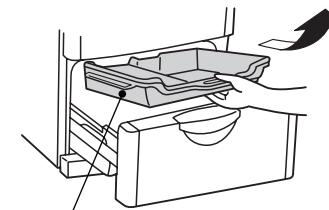
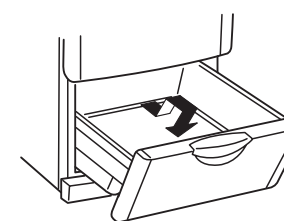
左右の奥を引っ掛けてありますので、奥を少し持ち上げ、手前に引き出します。
取り付けるときは、奥面に当たるまで押し込んでください。

たためるん棚

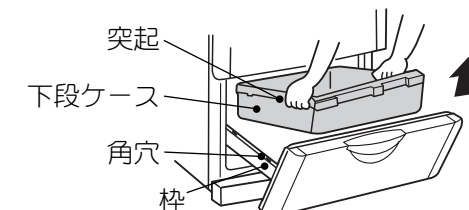
棚を奥に立てて上に持ち上げます。

チルドケース

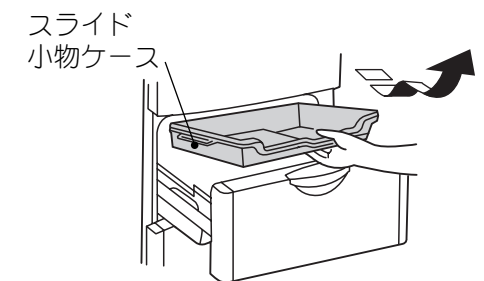
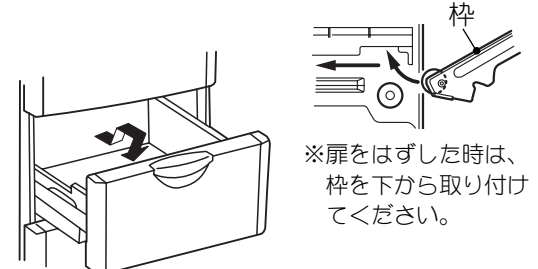
ケースをいっぱいに引き出します。手前を少し持ち上げ、さらに引き出します。

ジャンボダブルポケット

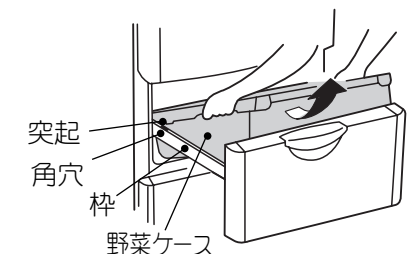
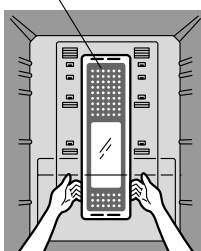
ポケットの取り付けは固くしてありますので、左右の底面を軽く突き上げながら、ゆっくり押し上げてください。

高さかわるポケット（上段左）/ポケット（上段右・中段大・中段小）

ポケットの取り付けは固くしてありますので、左右の底面を軽く突き上げながら、ゆっくり押し上げてください。

下段ケース・スライドケース

① 扉を開け、図のようにスライドケースを引き出します。

② 扉の手前を持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、扉を床に着けます。

※扉をはずした時は、枠を上から取り付けてください。

③ 下段ケースを図のように持ち上げます。
取り付けの際は、ケース左右前側の突起を扉枠の角穴に入れ、ケースふちで枠を抱え込むようにセットしてください。

野菜ケース・スライド小物ケース

① 扉を開け、図のようにスライド小物ケースを引き出します。

② 扉の手前を持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、扉を傾けます。

※扉をはずした時は、枠を下から取り付けてください。

③ 野菜ケースを手前に持ち上げます。
取り付けの際は、ケース左右奥側の突起を扉枠の角穴に入れ、ケースふちを枠の上に乗せるようにセットしてください。

庫内灯の交換

① 電源プラグを抜く。
② 高さかわるん棚（上段），うすいん棚（下段），たためるん棚を取りはずす。
③ ランプカバー下側左右の突起部に指をかけて手前に引き、ランプカバーをはずす。
※ツメが固く外しにくい時は左右に振るようにすると外れやすくなります。
④ 庫内灯を交換する。
庫内灯は**しっかりねじ込む**。
（庫内灯交換後、ランプカバーは先に上部ツメを下側から差し込み、はめてください。）

⚠警告

■ **庫内灯を交換するときは必ず電源プラグを抜く**
抜かずに作業すると感電やけがをすることがあります。

■ **庫内灯はゆるみなくしっかりねじ込んでください。**
冷媒が庫内に漏れた場合、引火して爆発する原因になります。

庫内灯のご注文

- 形名をご指定のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
- **市販のランプは絶対に使用しないでください。冷媒が庫内に漏れた場合、引火して爆発する危険があります。**

庫内灯 部品番号：R-S37V2 600

ノンフロン冷蔵庫について／冷凍室の性能／こんなときには

ノンフロン冷蔵庫について

- この冷蔵庫には冷媒及び断熱材にフロンを使用せず、炭化水素(ノンフロン)を使用しています。炭化水素は、オゾン層を破壊せず地球温暖化への影響も非常に少ない、地球環境に配慮した物質です。
- ノンフロン冷媒は可燃性です。冷媒は冷媒回路に密封されており、通常のご使用で漏れ出すことはありませんが、万が一、冷媒回路を傷付けてしまった場合は、火気・電気製品の使用を避け、窓を開けて換気してください。その後、販売店または修理受付窓口「0120-3121-68」にご連絡ください。

冷凍室の性能

この冷蔵庫の冷凍室の性能は ✻✻✻✻(フォースター)です。
冷凍室の性能は、日本工業規格(JIS C9607)に定められた方法で試験したときの、冷凍負荷温度(食品温度)によって表示しています。

■ JISの試験方法は次の通りです。

- 冷蔵室の温度が0℃以下とならない範囲で、最も低い温度になるよう温度調節をして、試験を行います。(☞ **9ページ**)
- 冷蔵庫の据え付け場所の温度は、15～30℃の範囲を基準としています。
- 冷凍室定格内容積100L当り4.5kg以上の食品を24時間以内で－18℃以下に凍結できる性能の冷凍室を、フォースター室としています。

記号	✻✻✻✻ フォースター
冷凍負荷温度(食品温度)	－18℃以下
市販冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3カ月

■ 市販冷凍食品の貯蔵期間

冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類・店頭での貯蔵状態・冷蔵庫の使用条件などによって異なりますので、一応の目安としてご覧ください。

こんなときには…

塗装面に傷が付いたときは

放っておくと、さびや塗装のハガレなどが発生しますので、早めに処置してください。
【簡単な処置方法】※さびは紙やすりなどで落としてから
○小さな傷は、テープを貼る。
○大きな傷は、防水性の壁紙を貼る。

停電したときは

扉の開閉を減らし、新たな食品の保存はさけてください。

長期間使わないときは

電源プラグを抜いてから庫内や自動製氷機のおそうじをし、2～3日間扉を開けて乾燥させてください。
(☞ **15, 16, 17ページ**)
●特に給水タンク内の浄水フィルターは、よく乾燥させてください。

庫内の食品温度をはかるには

●冷蔵庫用温度計をご利用ください。
温度変化の著しい庫内の空気温度ではなく、食品に近い温度が測れます。
冷蔵庫用温度計　部品番号R-624FB023
詳しくは販売店にご相談ください。
●一般のアルコール温度計で測る場合は、冷蔵庫中段の棚の中央に約100mlの水を入れた容器を置き、感温部を水中に3時間程度浸しておきますと、食品に近い温度が得られます。

霜取りは

冷却器についた霜は自動的に解けます。解けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。
霜取り操作は不要です。
●JIS(日本工業規格)では、霜取り中および霜取り終了後の冷凍負荷温度(食品温度)の上昇が5℃以下と規定されています。

故障かな?と思ったら

次のことをお調べください

全く冷えないとき

- 電源プラグが抜けていませんか?
- ヒューズやブレーカーが切れていませんか?
- 停電ではありませんか?

よく冷えないとき

- 温度調節を"弱"にしていませんか?
- 直射日光が当たったり、近くにガスレンジなどがありませんか?
- 熱いものを入れたり、扉をひんぱんに開けていませんか?
- 食品を詰めすぎていませんか?
- 周囲の風通しはよいですか?
- 扉が食品に当たって半開きになっていませんか?
- 据え付け後、充分に時間がたっていますか?
  (夏場など冷えるまでに24時間かかることがあります。)
- 夏場の特に暑い時期ではありませんか?(外気温が特に高いときには、冷却力が低下し、アイスクリームが柔らかくなったり、ドアポケットの温度が高くなったりすることがあります。)

冷蔵室、野菜室で食品が凍結するとき

- 温度調節を"強"にしていませんか?
- 周囲の温度が5℃以下になっていませんか?
- 水分の多い食品を、冷蔵室棚の奥に入れてませんか?

庫内のにおいが気になるとき

- においの強い食品を、ラップをしないで入れていませんか?

床面や庫内に水がたまるとき

- 扉が食品に当たって半開きになっていませんか?

これは故障ではありません

外側に露が付く　庫内に霜、氷、露が付く

- 周囲の湿度が高いとき、外側やドアパッキング、扉に露が付くことがあります。また、扉の開閉回数が多いとき、水分の多い食品を入れたときに、庫内(特に野菜ケース内)に露など付くことがあります。乾いた布で拭き取ってください。

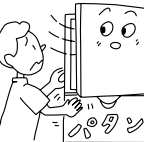
扉を閉めた直後、すぐに扉を開けようとすると、扉が重く感じる

- 庫内に入った空気が急に冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。

扉を開けたとき、モーター音がする

- 冷却運転時に庫内冷却用ファンが回転しているためです。

扉を閉めたとき、他の扉が一瞬開く

- 扉を閉める際の、中の風圧を逃がすためです。

冷蔵庫の前面や側面や背面が熱く感じる

- 露付き防止パイプや放熱パイプを内蔵しているため、食品の貯蔵には影響ありません。特に夏場は、熱く感じることがあります。

※背面の穴は、冷蔵庫製作時に必要なものです。性能には影響ありません。

音がうるさいとき

- 床がしっかりしていますか?
- 据え付けが悪く、がたついていませんか?
- 背面が壁などに当たっていませんか?
- 冷蔵庫の周囲に、おぼんなどが落ちて音を出していませんか?

このような音は故障ではありません

音	原因
水の流れるような音(チョロチョロ) 衝突するような音(コツコツ) 沸騰するような音(ボコボコ) 肉を焼くような音(ジュー)	●冷却のための液(冷媒)が流れる音や、除霜時の水の流れる音、蒸発する音です。圧縮機の停止中にも聞こえることがあります。
何か引っかかるような音(コツコツコツ) うなるような音(ブーン)	●庫内の温度を制御するモーター等の運転音です。
ギュイーン、ガラガラ、ゴボゴボ	●自動製氷機が離氷や給水をする音です。給水タンクが空のときにも運転をしています。
きしむような音(ピシッ)	●温度変化によりプラスチック部品がきしむ音です。
扉を閉めた直後の(シュッ)という音	●庫内に入った空気が急に冷やされて、圧力が一時的に低くなるために出る音です。

■以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。
アフターサービスについては、(☞ **23ページ**)をご覧ください。

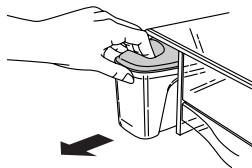
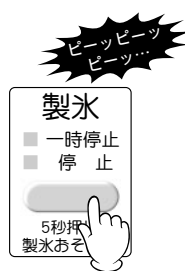
移動・運搬のしかた

移動・運搬のまえに

1. 庫内の食品を取り出す。
2. 自動製氷機の水を抜く。
3. 給水タンクの水をすて、空にする。
4. 電源プラグを抜き、アース線をはずす。
5. 調節脚を上げる。
(☞ 6 ページ)

自動製氷機の水抜き

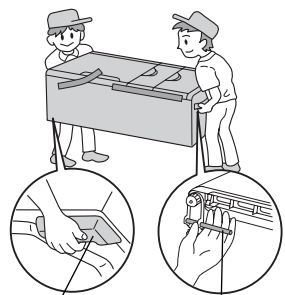
■ 自動製氷機の製氷皿に残っている氷や水を取り除きます。

① 給水タンクをはずし、製氷室・冷凍室の扉を閉める。

② 操作パネルの製氷停止ボタンを"ピーッピーッピーッ…"と鳴るまで"約5秒"押しつづける。

③ 約3分後にアラームが止まったら貯氷コーナーにたまった氷や水を取り除く。

④ 乾いたタオルで貯氷コーナーを拭き、元の位置に戻す。

⚠注意

■ **冷蔵庫を移動・運搬するときは、通路に防護シートなどを敷いてから行ってください。**
冷蔵庫内部の蒸発皿（外部から見えません）及び給水タンク内に水が残っていると、移動・運搬時に水が床面にこぼれることがあります。

移動・運搬のとき

- ●扉が開かないように、テープでしっかり固定してください。
  扉の側面に、塗装（メタリック）が施してあるものについては、テープの下に紙などを当てて、粘着剤が塗装部につかないようにしてください。
- ●安全上、2人以上で運搬してください。
- ●イラストのように扉を上にして運搬してください。
- ●引き出し式扉の取っ手を、運搬時に使わないでください。破損の原因になります。
- ●車などで運搬の際は、横積みをしないでください。圧縮機の故障の原因になります。
- ●取っ手（手かけ部）をクレーン等で吊らないでください。落下する恐れがあります。
- ●冷蔵庫底面のシール材は、放熱効率を上げるための部品ですので、取らないでください。

⚠警告

■ **背面・側面などをぶつけたり傷付けたりしない**
壁内の配管から冷媒が漏れ出すと、火災・爆発の原因となります。

お知らせ ● 転居の場合、周波数50/60Hz（ヘルツ）は共用ですので特別な操作はありません。
電気の周波数50/60Hz（ヘルツ）の異なる地域へ転居される場合でも、本冷蔵庫は両周波数共用で運転しますので、特別な操作は必要ありません。

保証とアフターサービス／お客様ご相談窓口

（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、**食品の補償等、商品修理以外の責はご容赦ください。**

保　証　期　間

お買い上げの日から1年間です。（ただし、冷凍サイクル・庫内冷却器用ファンおよびファンモーターは、5年間です。）
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはTEL0120-3121-68にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

21ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ **ご連絡していただきたい内容**
アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

品　　名	日立冷凍冷蔵庫
形　　式	R-S31XMV・R-S31XMVL
お買い上げ日	
故障の状況	できるだけ詳しく
ご　住　所	付近の目印等もお知らせください。
お　名　前	
電話番号	（　　　）　　－
訪問希望日	

※形式は保証書にも記載されています。

■ **保証期間中は**
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■ **保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ **修理料金のしくみ**
修理料金 ＝ 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料
などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談はエコーセンターへ

TEL 0120－3121－68
FAX 0120－3121－87
（受付時間）　365日／9：00～19：00

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談センターへ

TEL 0120－3121－11
FAX 0120－3121－34
（受付時間）9:00～17:30（月～土）・9:00～17:00（日・祝日）
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

お客様ご相談窓口におけるお取り扱いについて

お客様ご相談窓口でお受けした、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認のために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、お客様の同意がない限り、修理業務を委託する場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

- ●「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- ●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確に回答するため、通話内容を記録（録音など）させていただく場合があります。
- ●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。